

平成29年度 倫敦日本人学校だより最終号 3月9日

一年間ありがとうございました



校 長

窓から暖かな日差しが差し込み、春の訪れを感じさせる頃となりました。いよいよ惜別と旅立ちの時が間近に迫ってまいりました。

本校は、16日の修了式をもって平成29年度の全教育活動を終了いたします。

この一年間を振り返ると、子どもたちは学期を重ねるごとに着実に成長し、たくましくなりました。

子どもたちが、それぞれに仲間と共に学び合い、互いに切磋琢磨し合う姿は本当に素晴らしいものです。これも、ご家族の皆様の温かな励ましがあったからに他なりません。

子どもたちは、何よりも人の愛情で育ちます。けんかをして仲直りすることで、人とのかかわり方を学びます。思い通りにならないことがあるからこそ、我慢する心も育ちます。こうした子どもの育ちの根底になくはないものは、家族や先生たちからの愛情による、安定感や安心感です。子どもは、愛されているという安心感から、さらなる自信や意欲をもち、自分や周りの人のよさに気づいて大切にしようとしています。

各ご家庭におかれましては、これからも深い愛情をもって「家族の絆」を強め、お子様の健やかな成長を見守ってほしいと思います。

また、お子様のこの一年間の成長と頑張りをおおいに認め、賞賛と励ましの言葉をおくり、我が子の成長を祝ってあげてほしいと思います。

最後になりますが、保護者の皆様、関係の皆様方のこれまでのご支援・ご協力に感謝申し上げますと共に、今後とも本校に対する深いご理解と変わらぬご支援をお願い申し上げます。

温かいメッセージをいただいております



帰国された先生方をはじめ、多くの皆さまからお祝いのメッセージをいただきました。卒業式当日、講堂に掲示いたします。ぜひ、ご覧ください。

大切にしてほしいこと

【児童生徒の皆さんへ】

私から、いつまでも大切にしてほしい3つのことについてお伝えします。

1つ目は、「常に目標を掲げ、目的意識をもって行動する人になってほしい」ということです。目標に向かって努力することで、はるか遠くにあった目標がだんだん近づいてきて実現に至ります。世の中で一流といわれる人たちは、単に素質に恵まれていたということだけでなく、高い目標を掲げ、目的に向かって努力をしていたから一流になれたのです。皆さんもぜひ高い目標を掲げ、夢実現のために努力する人になってください。

2つ目は、「自分に責任のもてる人になってほしい」ということです。これからの時代は世界的な視野に立ち、物事を見つめていくことが求められています。国際的な舞台で活躍するとき大切なことは、何よりも人々からの信頼を得ることです。この信頼の基本となるのは、自分の責任は自分で果たすという自己責任です。自分のしたことの結果を他人のせいにしてたり、結果から逃げたりせず、自分がしたことには自分で責任をもてる人になってください。

3つ目は、「常に感謝する気持ちを忘れない人になってほしい」ということです。修了式の日をもって一年間の学校生活を終えることができるのは、皆さん一人ひとりの努力があったことはもちろんですが、その陰には多くの人のお力添えや愛情があったからです。そのことを忘れないでください。人は、多くの人の援助があってはじめて一人前の大人に成長できるのです。皆さんは、これからの数年間、さらに多くの人に支えられながら、自分自身を鍛え、力を蓄えていかなければなりません。これから続く長い人生の中で、多くの人と関わり、様々な人たちから有形、無形の恩恵を受けて、皆さんは成長し、生き続けていくわけです。それを当然のことと考えるような人にだけはなってほしくはありません。どうか、感謝する気持ちを大切にしてください。

～卒業に向けて～

友 ～旅立ちの時～

小6A担任

「友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている 同じ空の下 どこかで僕たちは いつもつながっている」これは、卒業式で歌う、「友 ～旅立ちの時～」の歌詞の最後です。

いよいよ卒業を迎えます。一人ひとりが新しい場所へ飛び立っていく時です。これから先、困難にぶつかるときもあるでしょう。しかし、そんなとき、ロンドン日本人学校のことを思い出してください。きっと、今まで培ってきた数々の思い出や仲間が、心の支えになってくれることと思います。それぞれ別々の場所にいても、みなさんはつながっています。自信をもって前を向いて進んでほしいと思います。そして、新しい自分の世界を、力強く切り開いていってくれることを心から願っています。

団結力の素晴らしい6年生

小6B担任

この1年間を思い返すと、行事やフレンドリー活動など様々な活動に6年生全体で協力して取り組んできました。

「率先垂範」、この言葉から、6年生がスタートしました。4月には、進んで1年生のお世話を行いました。時には、1年生の手を引いて教室まで連れて行く優しい姿が見られ、うれしく思いました。修学旅行や運動会、文化祭では、学年で楽しむだけでなく、みんなで協力し合って一つのことを創りあげていく良さを感じることができました。行事の度に一人ひとりの成長が見られました。

いよいよ卒業です。これから進む道はそれぞれ違いますが、いつまでもみんな仲間です。今後はずっと支え合っていける、そんな6年生であってほしいと思います。いつまでも応援しています。

個性あふれる笑顔が絶やさずに

小6副担任

小学部の最高学年として、低学年を引っ張っていきこうと一生懸命な6年生の姿を4月からずっと応援してきました。一人ひとりがリーダーとなり、いつも笑顔で、そして全力でその責任を全うしようと突き進む6年生の姿と、その6年生を慕い、6年生の頑張りに懸命に応える下級生の姿を目の当たりにする度に、6年生のみんなが「率先垂範」という学年目標の達成に向けて共に切磋琢磨することができる素敵な仲間であることを強く感じました。その絆のもとには、常に一人ひとりの個性あふれる優しい笑顔がありました。笑顔は人を幸せにします。みんなは無意識にその笑顔で周りの人を幸せな気持ちにしてくれていました。これからも自分らしさを大切にしながら、他の人への思いやりの気持ちを持ち、自分自身を含め周りにいる人たちを笑顔にできるような言動を心がけて成長していってくれることを願っています。

“Love the life you live,
Live the life you love.”

中3A担任

街角で、こんな言葉がデザインされているポストカードを見つけました。元はBob Marleyの名言だそうですが、多様性に富むロンドンという街にとっても似合う言葉だなあと感じました。以来、“人生を愛し、愛せる人生を生きよ”は、私の指針となっています。どこでどのように生きていくのか。これから先の人生は、全て皆さん自身の手委ねられています。この地で青春時代を過ごした皆さんならきっと、日本はもちろん世界を視野に入れ、豊かな人生を開拓していくことができることでしょう。その未来を想像するだけでワクワクします。「今この瞬間が最高!」という思いを常に更新し続けながら、“THE BEST & THE MOST”な人生を紡いでいってください。いつまでも心から応援しています。卒業おめでとう!

卒業おめでとうございます。

中3B担任

3月14日にロンドン日本人学校を卒業する児童生徒の皆さん、保護者の皆様方ご卒業おめでとうございます。児童生徒の皆さんにとって、ロンドンでの生活は大変有意義で多くの経験をもたらしてくれたことと思います。4月から日本へ帰る皆さんがロンドンで培った経験を活かし新天地で活躍してくれることを期待しています。また、イギリスに残る皆さんには、異国の地で生活できる利点を活かし、これまで以上に毎日を大切に、仲間を大切に多くの経験を重ね、大きく成長していってくれることを期待しています。

卒業という別れがあれば、入学という出会いが皆さんを待っています。4月からの新しい出会いを大切にして、新しい友達をたくさん作ってください。

巣立ちの日に寄せて

中3副担任

ご卒業おめでとうございます。卒業する喜び、新しい世界への不安、別れの寂しさ。いろいろな気持ちが渦巻いていると思います。

ロンドン日本人学校には年間を通してたくさんの卒業生が「帰って」きます。そんな卒業生たちがまず口にするのは「ああ、この匂い!」です。そして、後輩たちが学校行事や生徒会活動、日々の授業に一生懸命取り組んでいること、自分たちが守ってきた良さ伝統がしっかりと受け継がれていることに感動し、安心してくれます。

これから新しい環境で新しい体験の連続になるでしょう。寂しくなった時、辛くなった時、ロンドンの母校がいつも変わらずにあることを思い出してください。いつの日かここに帰ってきて「ああ、この匂い!」と言ってくれることを心待ちにしています。